

ネイティブポリシンエステラーゼ

Cat. No. NATE-0237

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明

エステラーゼは、エステルを酸とアルコールに分解する加水分解酵素です。

用途

豚肝エステラーゼは、製薬および工業用途のためにペンタアセチルカタキンとエピカタキンの加水分解を触媒するために使用されます。豚肝エステラーゼは、有機化学におけるキネティック解決と非対称合成に一般的に使用されます。豚肝からのエステラーゼは、光線力学療法のための光感受性に与える5-アミノレブリン酸ペプチド前駆体の効果を評価する研究に使用されました。豚肝からのエステラーゼは、冠状動脈および末梢血管における部位特異的動脈硬化遺伝子発現がその後の動脈の発生とどのように関連するかを調べる研究にも使用されました。Creative Enzymesからの酵素は、空洞繊維超濾過膜に固定化され、メソジエステルの非対称加水分解に使用されました。Creative Enzymesからのエステラーゼは、湿潤接着を模擬した条件下で調製された接着剤からメタクリル酸 (MAA) および2-ヒドロキシエチルメタクリレート (HEMA) の放出に与えるその効果を調べるために使用されました。また、さまざまなマトリックスにおけるカーボキシルエステラーゼ活性が、*Ceriodaphnia dubia* および *Hyalella azteca* に与えるペルメトリンおよびピフェントリン関連の毒性を除去する能力を調べるためにも使用されました。

別名

EC 3.1.1.1; アリエステラーゼ; B-エステラーゼ; モノブチラーゼ; コカインエステラーゼ; プロカインエステラーゼ; メチルブチラーゼ; ビタミンAエステラーゼ; ブチリルエステラーゼ; カルボキシエステラーゼ; カルボキシレートエステラーゼ; カルボン酸エステラーゼ; メチルブチレートエステラーゼ; トリアセチンエステラーゼ; カルボキシルエステルヒドロラーゼ; ブチレートエステラーゼ; メチルブチラーゼ; α -カルボキシルエステラーゼ; プロピオニルエステラーゼ; 非特異的カルボキシルエステラーゼ; エステラーゼD; エステラーゼB; エステラーゼA; セリンエステラーゼ; カルボン酸エステラーゼ; コカインエステラーゼ; 9016-18-6

製品情報

種	豚の
由来	豚の肝臓
形態	タイプI、凍結乾燥粉末、<10%のバッファー塩を含む粗粉末; タイプII、凍結乾燥粉末; わずかにペーブル; タイプIII、硫酸アンモニウム懸濁液、3.2 M (NH ₄) ₂ SO ₄ 中の懸濁液、pH 8。
EC番号	EC 3.1.1.1
CAS登録番号	9016-18-6
活性	タイプI、> 15ユニット/mg 固体; タイプII、> 50ユニット/mg; タイプIII、> 150ユニット/mg タンパク質 (ビウレット)。
単位定義	1ユニットは、pH 8.0、25°Cで1分あたり1.0 μ moleのブチルエステルをブチル酸とエタノールに加水分解します。

保管・発送情報

保存方法 -20°C